

令和5年度 横浜市立川和東小学校 第5回学校運営協議会 記録

令和6年1月26日(金) 18:00~19:30

横浜市立川和東小学校地域交流室

出席者・・・委員長以下 11名

司会・・・委員長 記録・・・副校長

## ●内容

### ○30周年取組のご報告

児童がよい姿を見せてくれた。これからもまだ講演会などを予定。

### ○学校評価アンケート結果のご報告

・本を読むことが好きな児童が3年間で減ってきている。地域の方や学習ボランティアの方々と関わり合いながら楽しく学んでいるという項目もそう思う、だいたいそう思うが減っている。何か対策を考えるべきである。

→読書も地域との関わりも力を入れたところである。青虫のついたキャベツを地域コーディネーターの方に用意していただいたり、学校司書が主催する教員研修をしたりした。

→読書については、令和3年度はコロナで制限が多く、読書する児童が多かったということが考えられる。地域との関わりについては、学年によって、総合的な学習の時間などに取り組んだテーマによると考えられるので、分析するときには学年によってこうだった、扱う内容によってこうだったというようにすればよい。

・授業参観について、学校はいつでも来てよいし、いつ見てもかまわないことを伝えていく。

・タブレットについては、横浜市の方針で持ち帰るという指導はない。不登校などで持ち帰って活用することはある。横浜市も持ち帰る準備をしている。

・いじわるなことをされたことがあるという設問で、そう思うとだいたいそう思うが30%あり、少ないとは言えないのでそこを改善していく。

・行き帰りに挨拶を進んでしていないという傾向がある。旗振りをしていても、大人も子どもも挨拶をしない人がいて、簡単にはいかない。

・3年間の経過を見ると下がっている。項目は経過を見るために簡単には変えられない。

・学校が目標を立ててやってきたことを評価してもらおうということで間違いではない。保護者が設問をきっかけに、わが子が本を読んでいるか?など、振り返る機会になる。

・学校はよくなっている。子どもは本を読むようになった。子どもはおもしろいものに興味がある。図書館の展示などの工夫をしながら、本のおもしろさを知ってもらう。

・本を好きな子は減っている。漫画雑誌などは読む。どこまでが本なのか。本を好きになるのは中学生くらいかもしれない。

・キッズクラブは予め全部予定を入れてからキャンセルしてもよい。次の月の予定も出ている。

・いじめのアンケートは子どもの理解力にもよる。いじわるを悪いと思わない。困ったことを書いてもよいということを教える。

- ・いやとかいやではないは、子どもも大人も個人差がある。  
学校生活が楽しいが多い。いい方向で進んでほしい。
- ・保護者のアンケートと子どものアンケートの違いがある。子どもはやっていると思っているが、親はそう思っていない。衛生面は、コロナ禍の時よりも親の意識が薄れている。
- ・学校評価アンケートでは、主語が学校は、先生は、というの必要。「先生は迅速に対応してくれたか。」など。
- ・教員を励ましたい。仕事ができなくなった人はいないかなど、教員の本音や苦勞などの気持ちを聞きたい。

○学校より

今日のご意見を学校評価アンケートに取り入れて、学校経営に生かしたい。来年度もこのメンバーで運営協議会を行いたい。次回は令和6年5月17日（金）17:00～